Olive おりいぶ

2026

四国の少年院・少年鑑別所



―屋島山頂から見た高松市内―

矯正のMVV（ミッション・ビジョン・バリュー）

What is ?

MVV：組織が社会で果たすべき使命や目指す未来、大切にする価値観を言語化したもの。意思決定や行動の指針となる。

各施設のVisionビジョン　―将来のあるべき姿―

四国矯正管区

SRCH

矯正局は、令和７年２月に**「矯正行政のミッション・ビジョン・バリュー ～ 社会の皆様への約束とお願い ～ 」**を策定し、国民や職員に向けて今後の矯正行政の姿勢を示しました。 わたしたちも、それぞれのビジョン（目指していく２０年後の姿）を掲げて、その達成に向けて動き始めました。

矯正のMVV（ミッション・ビジョン・バリュー）ー矯正の存在意義とミッションの実現に向けてー

Mission 私たちの使命

更生を信じる力で　もっと安全で、豊かな社会を

Vision 私たちが目指す20年後の姿

罪と向き合い、社会とつながる場所

Value 私たちの行動規範

矯正 共生 KYOSEI

←詳しくはこちらへ！

- 犯罪被害者等の声に耳を傾け、犯罪や非行をした人の過去にも目を向けて、真摯な反省と更生に向けた思いや行動が生まれるよう、対話を重ねます。
- 安全を守り、回復と更生を支援する対人援助職として、公平・公正に振る舞い、自らの責任を果たしていきます。このために常に学び、磨く姿勢を持ち、社会とつながりながら、創意工夫を重ねます。失敗を教訓と捉え、困難な課題にも挑戦していきます。
- 多様な価値観を受け入れ、それぞれの強みが発揮されるよう助け合い、共に成長し、共に幸福であろうとします。

四国矯正管区

共に歩む四国　～寄り添い、耳を傾ける。職員の活躍のために～

Vision　Our envisioned future 20 years from now

矯正局ミッション「更生を信じる力で　もっと安全で、豊かな社会を」に向けて、

- 四国矯正管区は、管内の矯正職員がいきいきと活躍できるように、共に歩み続けます。
- 四国矯正管区は、四国４県の近さを生かした機動力と結束力を発揮し、道を共に行く同行者のように管内の矯正職員に寄り添い、その声に耳を傾けます。

各施設のVision ビジョン ー将来のあるべき姿ー

丸亀少女の家

「おかえり」のない
「いってらっしゃい」
～もう一つの家　丸亀少女の家～

彼女たちは、時間を掛けて職員と関係性を構築し、改善に向けて努力します。

そんな彼女たちの自主性や主体性を社会と連携しながら、育み、温かいまなざしで見守ります。

社会に戻る時に、自分の足でしっかり歩むことができるよう、「いってらっしゃい」と背中を押してあげるような教育を展開していきます。



四国少年院

「人」を育み
「人」をつなぐ架け橋へ

この「人」には、在院者や職員はもちろんのこと、関係機関や外部協力者、他の矯正施設との連携、地域の方々や社会との共生、被害者等の心情等に寄り添うという意味も込められています。この「人」との関わりを大切にした処遇を展開することで、在院者をはじめとした「人」と「人」をつなぐ架け橋となり、在院者の改善更生と健全な社会復帰を目指します。



公民館のお祭りで当院で収穫した野菜を販売しました！

徳島少年鑑別所

当所のビジョンは
「あってよかった　徳島鑑」です。

地域援助業務の件数が多くなってきたところ、地域の方々から良いフィードバックをいただくことが増えてきました。

時代によって少しずつ役割を変えつつも、関係機関の方、少年たち、地域の皆様に「あってよかった」と思ってもらえる、我々職員もそう思って働ける、地域に根差した施設を目指したいと考え、このビジョンを立てました。



地域の方をお招きして、施設見学や業務説明を行っています！

高松少年鑑別所

**「人と向き合い、
人とつながる」**

～職員と被収容者　職員と職員
職員と地域社会の人たち～

全職員で協議を重ねる中で、自ずと見えて来た、互いに向き合い、つながることの大切さ、それをストレートに、当所のビジョンとしました。



松山少年鑑別所

**「立ち直りの起点となり、
継続的な支援をめざして」**



職員一人ひとりが、これまでに自分の仕事とどのように向き合ってきたか振り返った上で、自身が大切にしていることを共有し、話し合いを重ねて決定しました。

高知少年鑑別所

**「丁寧にやる。
だから、信頼され、心を動かす。
それが、わたしたちのスタイル。」**



更生保護女性会の皆様に
生けていただいたお花です

当所のビジョンは、昨年度、全職員で意見を出し合って考えました。全ての業務において「丁寧にやる」こと。そうすれば相手との信頼関係が生まれ、思いはきっと伝わる。そういった希望が込められています。少しでも再犯・再非行の防止に寄与できるよう、私たちのスタイルを誇りに、皆で力を合わせて励みたいと思います。

四国の少年院・少年鑑別所のトピックス

丸亀少女の家



丸亀市役所において、市役所職員の方を対象にアクリルたわし等の「職業指導製品の販売会」を開催しました。

在院者自らが製品の説明を行うなど、主体性を育む教育を展開しています。

四国少年院



毎年、募集参観を開催しています。前回は５９名の方が来てくださり、見学や授業体験をしていただきました。今後も「人をつなぐ架け橋」を目指した活動に取り組んでいきます。

徳島少年鑑別所



「あってよかった徳島鑑」と思ってもらえるよう、地域とのつながりを大切にしています。写真は、令和７年11月に実施した募集参観のコグトレ体験の様子です。今年度も実施予定ですので、実施時期等に関しては、当所までお問い合わせください。

高松少年鑑別所



若手職員が中心となり、地域との「つながり」を意識して、地元のヒーロー「桃太郎」を取り入れた非行防止教室教材の作成に取り組んでいます。

松山少年鑑別所



ビジョン達成のための取組の１つとして、スキルアップを目的とした、「全職員参加型のリフレクティング勉強会」を開催しました。

高知少年鑑別所



インターネット上の最新の防災情報等を効果的な教材作りに生かすなど、在所者のこれからの人生に生かしてもらえる健全育成のための支援を実践し、丁寧な観護処遇を日々重ねています。

少年院・少年鑑別所についてもっと知りたい方は

・矯正局フロントページについて

https://www.moj.go.jp/kyousei1/kyousei_index.html

・大学（院）生の方は、体験プログラムも実施しておりますので、ぜひ御参加ください

https://www.moj.go.jp/kyousei1/kyousei03_00030.html

四国少年矯正広報誌「おりいぶ」２０２６

編集・発行　四国矯正管区

〒７６０－００３３

高松市丸の内１番１号　高松法務合同庁舎８階

電話番号　０８７－８２２－４４６１

メ ー ル　g.shikokukyousei.037@i.moj.go.jp